

これから高温の日が続きます。 暑熱対策は出来ていますか？

今年の夏も平均気温が高く推移すると見込まれています。
家畜を少しでも暑さから守り、生産性低下を防止するために
暑熱対策を行ないましょう。

考えられる暑熱対策をまとめました。既に取り組んでいるかと思いますが、より効率的な対策となるよう見直してみてください。

○ 畜舎温度の低下による畜舎環境の改善

- ・ 畜舎周りに樹木や遮光ネットを設置
- ・ 屋根・壁・床への断熱材の設置、塗布
- ・ 換気扇や扇風機での送風
- ・ 家畜への直接送風・散水



ネットに植物を這わせる

○ 飼養管理の徹底による家畜の負担軽減

- ・ 密飼いを避けて、畜舎内の換気を良くし、体感温度とイライラの低減（牛では毛刈りの実施）
- ・ 冷たい新鮮な水が十分に飲めるようにする
- ・ 良質で消化率の高い飼料を与える
- ・ 飼料給与を涼しい時間帯に行なうとともに給与回数を増やす
- ・ 必要に応じてビタミンやミネラルを給与し、栄養不足を補う

家畜の病気に関するお問合せは山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771(平日) FAX・・・0551-22-6728

土日・休日・夜間の連絡は・・・090-5564-1018または090-5568-0817

暑熱対策事例

1

新潟県搾乳牛50頭飼養農場での取組

畜舎環境、飼養管理における複合的な対策

- 十分な飲水の確保→給水管を太くした
- 畜舎温度上昇の抑制→井戸水を利用したスプリンクラー設置
→トンネル換気の実施(牛舎壁面に換気扇設置)
- 採食量の維持→1日6回に分けて配合飼料を少量ずつ給与
(自動給餌機)
→盗食防止板の設置により飼料摂取量を適正にコントロール

(効果)日乳量 0.4kg/頭増加 分娩間隔 0.6ヶ月短縮

牛舎屋根に設置したスプリンクラー



牛舎壁面の換気扇



石灰の吹きつけ



暑熱対策事例

2

宮崎県肉用牛200頭飼養農場での取組

畜舎屋根への石灰塗布

- 塗布面積:800m²(屋根材:ガリバリウム)
 - 作業人数:5名 作業時間:3時間(実質塗布時間:2時間)
 - 石灰(牛舎消毒用)、水、動力噴霧機、電動ドリル、かき混ぜ棒、ポリバケツ(大)
 - 石灰を水に溶かして石灰乳を作り、動力噴霧機にて屋根へ散布する
- 【塗布面積あたりコスト】33円/m²
- 【注意点】①石灰乳がダマにならないよう常にかき混ぜる(電動ドリルで攪拌)
②長持ちさせるため、ムラなく丁寧に塗布する

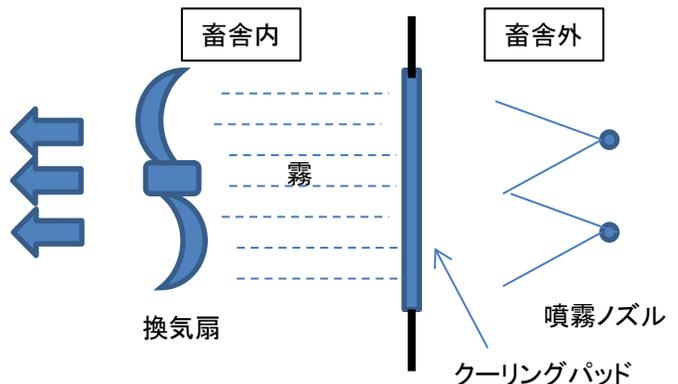
(効果)牛舎内温度の変化 約5℃低下
採食量が増え、枝肉重量が増加、出荷成績の改善につながった
夏場の飼養管理がしやすくなった

暑熱対策事例 1

愛知県繁殖母豚350頭飼養農場での取組

分娩豚舎へのクーリング・パッドの設置

- クーリング・パッドの外側に噴霧ノズルが付いており、畜舎内に設置した換気扇により、空気を引く。これによりパッドから抜けた霧が畜舎内に流入する(下図)
- 噴霧ノズルは、12秒間噴射後、7秒間停止する間隙作動
- クーリング・パッドは29℃で作動するようにセットされ、作動時間は午前9時から午後6時まで
- 畜舎中央に順送ファンを設置し、排気口まで風量を維持する工夫
(効果) パッド作動時の畜舎内温度は、外気温と比較し、入気側・排気側とも平均4℃低かった



暑熱対策事例 2

群馬県採卵鶏4,500羽 養農場での取組

アカザを利用した鶏舎庇蔭(ひいん)

- 自作地の畑などに自生している雑草であるアカザを梅雨時に抜いてきて、すべての鶏舎(8棟)の東側と南側に移植
- アカザは成長が早く、夏期には鶏舎屋根まで覆い、鶏舎内に日陰ができた。夏を過ぎると枯れるため、後処理も容易
- 自生するアカザを用いるため、低コストで簡易

【注意点】

鶏舎内の風通し確保のため、アカザの下部の茎から出る枝や葉を切るなどの手入れが必要

(効果) 夏期の死亡羽数が激減した



暑熱の影響により家きんの死亡率が上昇した場合でも、万一の鳥インフルエンザの発見や発生拡大を防ぐために、家畜保健衛生所で状況の確認をしますので、必ず家畜保健衛生所までご連絡をお願いします！！